

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 8月10日 更新

事務事業名		老人憩の家維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	内田 秀一郎
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	米澤 伸仁
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進			所属班	高齢者保険班	(内線)	2115
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 6	事業連番 10437	法令根拠	合志市老人憩の家条例・同施行規則・同運営管理規程 指定管理協定書・	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度)		

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	○平成6年4月、老人の生きがいと福祉を高め、心身の健全と教養の向上及びレクリエーションのための施設として、老人憩の家が開館。地方自治法の改正により、平成18年9月から指定管理者制度による管理運営に移行している。現在、第2期(H21.10～H24.3)の指定期間であり、24年度以降の指定の手続きが必要となる。 ○老人憩の家の管理運営を指定管理者(合志市社会福祉協議会)に行わせる。 ・各年度の指定管理料及び支払方法について年度協定を締結する。 ・モニタリング(月次の業務報告書、年度の事業報告書、アンケート調査等を受け、管理運営状況の確認)を行う。 ・年間修繕額が12万円を超えたとき、指定管理者と費用負担の協議を行い、市が負担する修繕を行う。
【業務の流れ】	【毎年度】○年度協定の締結(4月) ○モニタリングの実施(月次報告の確認等) ○年間額12万円を超えたときの修繕の実施 ○指定管理料の支払(四半期毎) 【更新の前年度】○管理方法・募集方法・指定期間の決定(政策推進本部一議会全協説明) ○指定管理者の募集(募集要項と仕様書の作成・配布、募集説明会、申請書審査) ○選定委員会の開催(選考審査、候補者決定) ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○指定管理基本協定の作成・締結
【主な予算費目】	需用費(修繕費・施設修繕費)、委託料(指定管理料)、委託料(工事監理)、工事請負費
【意見や要望】	○祝日も営業してほしいとの意見があった。 ○利用料に身障者割引制度を導入してほしいとの意見があった。 ○従業員の接遇を指導改善してほしいとの苦情があった。 ○館内を禁煙にしてほしいとの意見があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	○年度協定の締結(4月) ○モニタリングの実施(月次報告の確認等) ○年間額12万円を超える修繕の実施 ○指定管理料の支払(四半期毎)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 22年度と同じ。23年度は第3期の指定管理者選定(指定)の手続きが加わる。 利用料金(市内)を100円とした。祝日も営業することにした。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア: 老人憩いの家施設補修箇所数 イ: 施設等修理金額	(単位) 箇所数 千円
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等・市民(利用者)		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 利用者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 不都合なく安全に利用してもらう		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 施設・サービス等について満足と答えた割合 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 利用者アンケート(施設・サービス利用に対する満足度)の結果は、意図(不都合なく安全に利用してもらう)の達成度を表す指標として適している。全ての利用者に満足していただきたいと考え100%に設定した。 ※22年度より成果指標を変更した(変更前:施設維持管理上の不具合・トラブル件数)		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	ア	箇所数	2	4	2	4	1	0	0	
	イ	千円	300	149	200	322	150	0	0	
② 対象指標	ア	人	47,050	46,292	46,292	48,586	49,000	49,000	49,000	
	イ									
③ 成果指標	ア	%	0	0	100	95	100	100	100	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円				5			
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	14,541	13,025	13,822	18,979	39,706	26,841	13,000
		(A)のうち指定経費	千円	14,541	13,025	13,822	18,984	39,706	26,841	13,000
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	4	4	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	154	279	279	270	270	270	270
(B) 人件費計	千円	616	1,110	1,110	1,112	1,112	1,112	1,112		
	千円	15,157	14,135	14,932	20,096	40,818	27,953	14,112		

総トータルコスト  
全体計画  
～  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	老人憩の家維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 「休館日・利用時間の設定」について不満足な点があった。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 これまで休館だった祝日も営業するようになったことから利用者の満足度は上がると思われる。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 指定管理者による従業者への接遇教育や日々の施設・設備点検等により、利用者の満足度を上げることができる。 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 修繕負担協議額を引上げることにより迅速な対応ができ、利用者の満足度を上げることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 指定管理者制度による管理運営以外に手段がない。ふれあい館と温泉源を共用していることやふれあい館が避難所等になった時の対応などを考慮すると、ふれあい館の指定管理者によるふれあい館との一体的な管理運営が望ましい。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ①指定管理者が委託する業務の統合・縮減、内容・仕様・工法の適正化(見直し)等により、②利用者のエコ意識を高める取組みなどによって、光熱水費を縮減することにより、③利用料金収入を増やすことにより指定管理料が削減できる。 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度を導入しており、直営と比べると業務時間においては削減されている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 施設を利用できる者は原則60歳以上の老人に限られるが、老人福祉の向上を目的とする公共施設であることから公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 指定管理者制度により管理運営している施設である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的に沿った運営がなされ、良好な運営状況である。</li> <li>利用者調査(アンケート)の回答数が少ない。アンケートの方法に工夫が必要である。</li> </ul>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕負担協議額(現行12万円)の引き上げを行う。</li> <li>指定管理者が委託する業務の内容を見直す。</li> </ul>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕負担協議額の引上げは、指定管理料の増額と結びついてくる。次回の指定管理者更新にあたっては、残額があった場合は精算して返戻してもらう等の手法により、適正な額を計上する。</li> </ul>																						